

平成29年4月19日

上ノ国町議会議長

石澤一明様

氏名 岩城昇



平成28年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 政務活動報告書

### 1 政務活動名

- (1) 道内市場の調査研究
- (2) カキ養殖事業の調査研究
- (3) ギンザケ養殖事業の調査研究
- (4) 歴史文化遺産などの保全展示公開の調査研究

### 2 政務活動内容

- (1) 平成28年6月23日～24日

道内市場視察

- (2) カキ養殖事業の概要について

平成28年10月20日午前9時から、新潟県佐渡市の加茂湖漁業協同組合で、伊藤隆一組合長より加茂湖でのカキの養殖事業について説明を受けて、研修視察した。

- (3) 銀ザケ養殖事業の概要について

平成28年10月20日午前11時から、新潟県佐渡市の弓ヶ浜水産佐渡事業所で山本勝所長より前浜沖での銀ザケの殖事業について説明を受け、研修した。

- (4) 史跡「佐渡金山」や「トキの森公園」での保全や展示公開について

平成28年10月20日午後2時から視察研修した。

### 3 政務活動成果

- (1) 道内市場視察

6月23日（木）

#### ○丸果室蘭成果

（対応者）渡社長、馬場部長

上ノ国町の今年度の作付、生産状況を説明した後、馬場部長より、現在の市場野菜全般の入荷、価格等の説明がありました。サヤエンドウの取扱いは、福島県産で、価格はキロ1,800円から2,000円くらいとなっているそうです。今後、上ノ国町産となるので、価格についても努力することです。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

（例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など）

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

## 別紙2

### ○苫小牧中央青果

(対応者) 野沢次長、河村課長

上ノ国町の今年の作付、生産状況の説明をした後、河村課長より、市場取扱い全般の説明があり、サヤエンドウの入荷は、岩手県のものでキロ1,500円程度だそうです。スナップエンドウは地場のもので、キロ1,000円から1,200円となっており、今後は上ノ国産となるので、出荷量を多くお願いしたいとのことです。

6月24日（金）

### ○丸果札幌（場内見学）

(対応者) 石黒部長、奥マネージャー

上ノ国町の今年の作付、生産計画等について説明した後、東海林セリ人から野菜全般の一年間の取扱いについて説明があり、現段階でのサヤエンドウの状況については、全国的にも減少ぎみであり、代わってスナップエンドウが増えているとのことです。サヤエンドウについては、道外産の切上げが早いため、上ノ国産が頼りであり、価格については頑張りたいとのことです。現段階ではキロ2,500円が中心となっているので、量的に少しでも多く出荷をお願いしたいとのことです。

### ○札果ホクレン青果

(対応者) 近藤課長、郡主任

上ノ国町の出荷、生産計画状況を説明した後、札果ホクレン青果の職員から、すべての市場の取扱いについては、丸果札幌と同様ですが、札果ホクレンは、上ノ国産のニラについては、全体の6割となっています。ただし、量が多く、価格が安いため、高値で販売するようお願いしました。

### ○小樽市場

(対応者) 竹内課長

各市場よりも出荷量が少ないため、市場経営についていろいろな協議がされました。

### ※まとめ

各市場での要望は、上ノ国産が中心となるので、毎月、安定した量を出荷してもらいたいとのことです。サヤエンドウやスナップエンドウは共に、価格面でもほかの地域に劣らないよう頑張ることです。また、ニラについ

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

## 別紙2

ては、知内産があり、（上ノ国産は）品質的にも劣るので、価格は安値となっていますが、市場では努力することです。

### (2) カキ養殖事業

加茂湖のカキの養殖は明治35年から始まり、貧酸素水塊（酸素量が極めて不足している孤立した水域）と戦いながら今日に至っています。加茂湖は周囲17km、面積486haで最大水深8.7mの淡水湖ですが、現在はポンプで外海から海水を入れています。カキはいかだ方式で3月に種付けし、11月から3月に収穫しています。出荷は1年物で、種子は三重県や宮城県から購入しています。

当初より組合員が減少し60名で、半数が農業を兼業しているとのことです。高齢化が進み、後継者不足のため後継者の育成にも取り組んでいます。

漁獲量は119トン（平成27年度）で、そのほとんどが県内で消費されているとのことです。また、養殖いかだは最盛期は4,000台くらいありましたでしたが、現在は400数十台となっています。農地からの排水の流入による富栄養化や酸素不足をなくすために、自然に合せたヨシ原をつくっているとのことです。なお、佐渡島の反対側の真野湾では、はえ縄方式でカキの養殖を行っているとのことです。

加茂湖カキ養殖いかだの設置状況（下）



#### ○加茂湖におけるカキ養殖の歴史

- ・明治35年 湖口の掘削より両津湾とつながるカキ移植（失敗）
- ・明治43年 地まき式養殖を県水産試験場が指導
- ・大正10年 この頃から天然カキが湖内に大発生
- ・昭和6年 垂下式養殖に成功（ヘドロの影響により時まき式養殖が困難）  
**湖奥のカキが大量死**（底層水の貧酸素が原因）
- ・昭和26 ~27年
- ・昭和38年 払台数3,000台、総収益1億円を記録（現在約850台）
- ・昭和39年 この頃から水質悪化による**カキ死**が目立つ
- ・昭和46 底層水の貧酸素状態を改善するため、海水導入及び陸水導入工事を行う（1）
- ・昭和50年 カキ殻処理場を設置（2）
- ・昭和55 海水導入工事を行う（3）
- ・~58年
- ・平成5 ~16年 湖奥に堆積したヘドロを除去するため、浚渫工事を行う（4）
- ・平成12年 海水攪拌装置4基設置する（5）  
**湖奥のカキが大量死**（シロボヤの大発生を伴う）
- ・平成19年 ヘテロカブサによる**カキ大量死**
- ・平成21年



注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

（例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など）

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

## (2) ギンザケ養殖事業

弓ヶ浜水産株式会社（日本水産（株）の子会社）は、当初、宮城県女川町でギンザケの養殖、加工事業を行っていましたが、2011年の東日本大震災で被災したのを機に、本社機能を鳥取県に移し、2年間の試験操業の後、2013年12月に佐渡事業所を設立しました。

養殖銀ザケ「活〆（かつじめ）佐渡サーモン」の生産サイクルは、右図のとおりで、漁獲量は生簀（いけす）10基分1,000トンを計画しています。佐渡市は、鳥取県堺港市よりも海水温の上昇が遅く、出荷時期が約1か月遅くなるた

め、佐渡サーモンの供給期間が長くなつたとのことです。サケの卵は北海道やカナダから購入しており、1月に孵化し、6月から淡水飼育した後、年末から佐渡市の沖にある生簀（いけす）で海面飼育しています。

水揚げは水温が20度位になる5月以降になり、「活〆（かつじめ）佐渡サーモン」のブランドで出荷しています。

養殖場は、佐渡島の影になり、波が少しは穏やかとはいえ、日本海で大量に海面飼育ができ、へい死率が少なく、生育のムラがないのは、給餌システムによるとのことです。

この給餌システムは、①魚の食欲に合わせて給餌、②水温や摂餌（せつじ）行動を水中カメラでモニタリング、漁場と事務所間をデータ通信、③給餌技能を見える化できるものです。

(3) 史跡「佐渡金山」や「トキの森公園」での保全や展示公開について  
佐渡市には自然、歴史文化遺産などがたくさんあり、佐渡金山は1601年から1989年まで、金銀を探掘しており、388年間に産出した金は78トン、銀は2,330トンで、まさに日本最大の金銀山でした。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

## 別紙2

佐渡市では、世界文化遺産の指定に向けて、市民運動を展開しており、街中にはそれに向けたのぼりが多く見られ、観光客にも働きかけをする光景が見られました。佐渡金山は、きれいに保存され、歴史文化の展示もわかりやすく、環境整備もされています。

また、国際保護鳥トキを展示している「トキの森公園」も環境整備が整っており、近くでトキを見られる工夫やトキについての様々なことがスクリーンやパネルでわかりやすく展示されております。特に、トキの保護のため、車で近づかないことや、農家が収穫期が終わった後、水田を代かきして餌になるドジョウの増殖を図るなど、住民が一丸となって保護しているのが感じられます。



### 研修の成果

加茂湖でのカキの養殖については、組合員の減少、後継者不足と養殖事業も大変厳しい状況にあるとの事です。

また、歴史文化事業の目玉である金山、トキについても観光の魅力です。トキについては、最盛期より毎年減少し、佐渡市としては、一番の観光として力を入れていると思います。そのため、トキの増殖に力をいれており、一戸あたり30a（アール）から50aくらいの農家のほとんどが、水田作付をしています。トキの増殖対策として水田収穫後、再度、水田に水を張り、代かきをしています。農薬や肥料を利用しないため、ドジョウ、魚類が育つことで、トキの飼料となり、現在では1,000羽にもなったとのことです。そのため、佐渡市は作付農業者に対して補償金を支給しております。

佐渡市も高齢化により、15万人いた人口が5万人に減少しているため、金山やトキという最大の歴史や文化を生かした観光開発に全力投球しているように思われました。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。